

元日、初心に帰り「今年こそがんばっていこう」と誓いを新たにされた方も多いかと思えます。

しかし、正月のお休みが明け、学校や職場での毎日がはじまると、ああ今年もまた、去年と同じに毎日毎日過ぎていくのだな、と、元日の初心を忘れそうになることがあるかもしれません。

確かに、大きな環境の変化がない限り、日々は同じように過ぎていく様に感じます。でも、私たちが過ごしている毎日は、ほんとうに同じ毎日なのでしょうか。

考えてみて下さい。

今日という日は、私たちが生まれてから、初めて迎える一日です。

私たちは、日々新たな一日を迎え続けています。そこで経験することは、すべて初めて経験することなのです。それは私だけでなく家族や他の多くの人と共に、初めて迎える日とも言えます。

初めての経験をする時に懐く心は、すべて初心といえることができるでしょう。であるならば、私たちは新たな一日に出会い続けることで、初心を忘れることはない、むしろ初心を常に新たにしていけるといえるでしょう。

道元禅師は、仏道を歩みはじめる時に懐いた初心は、一回だけではなく、百たびも千たび

## 『 禅のこころ -曹洞宗- 』

---

も万たびも、もつべきである、と示されています。

新しい一日が始まる度、もっと言うならば、新しく迎える一瞬一瞬に、百たびも千たびも万たびも、初心を常に懐き続けること。

そのような心持ちで、今年を過ごそうではありませんか。

— 終 —